

単位数	2	学科・学年・学級	普通科、理数科・3学年・EFG組
教科書	新編詳解地理B (二宮書店) 新詳高等地図 (帝国書院)	副教材等	新版三訂 最新地理図表GEO (第一学習社)

1 学習の到達目標

<p>1. 世界の地理的事象を系統地理的考察と地誌的考察を通して学び、地理的な見方や考え方を培いながら、現代世界を観る視野を広げる。</p> <p>2. 地図や統計、写真や地理情報の使い方や読み方を通して、地理的技能を身につける。</p> <p>3. 世界の人々の暮らしや多様性を理解しながら、地球規模の課題の解決に取り組む姿勢と資質を養い、日本の役割を考えて行動できるようにする。</p>
---

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	農林水産業	農業地域の条件	世界の農業を取り上げ、それぞれの特色や分布、形成要因などについて考察させ、基礎的・基本的知識を習得させる。世界や日本の食料問題・課題を世界的視野に留意して概観させ、形成要因を考察させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、ノート（ワークシート）の提出</li> <li>・授業内課題の取り組み状況</li> </ul>
			工業	世界の工業の成り立ち・立地を取り上げ、工業地域の形成と変容に関して考察させ、基礎的・基本的知識を習得させる。グローバル化する中で世界と日本の工業に関して世界的視野に留意して、それらの動向・形成要因について考る。	
	5	資源と産業	中間考査		
	6	人口と村落・都市	流通と消費	世界の交通・情報通信・貿易・商業・観光を取り上げて、それぞれの特色と動向、形成要因に関して考察させ、基礎的・基本的知識を習得させる。それぞれの課題に関して世界的視野に留意して考察させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、ノート（ワークシート）の提出</li> <li>・授業内課題の取り組み状況</li> <li>・グループワークやペアワークなどの活動状況</li> <li>・授業態度等</li> </ul>
			人口	世界の人口分布、人口増加・人口構成に関する動向を取り上げて、形成要因に関して考察させる。世界の人口増加地域と減少地域の人口問題を比較しながら、日本の人口問題とも関連させて考察させる。	
			都市	村落の立地と形態、都市の発達と変容に関して考察させて、村落・都市に関する基礎的・基本的知識を習得させる。	
	7		期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	9	生活文化と民族・宗教	衣食住	世界の衣食住を取り上げ、それらの分布と特色を理解させ、地域性との関連を考察させて、基礎的・基本的知識を習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、ノート（ワークシート）の提出</li> <li>・授業内課題の取り組み状況</li> <li>・グループワークやペアワークなどの活動状況</li> <li>・授業態度等</li> </ul>
			言語と宗教	世界の言語と宗教の分布を理解させ、言語・宗教と社会との関連を考察させて、基礎的・基本的知識を習得させる。	
			民族と国家	民族と国家との関連を理解させ、基礎的・基本的知識を習得させる。	
	10	現代世界の諸地域	中国	中国について「発展する大国」に着目させ、それと歴史的背景や工業、貿易、農業、人口、環境問題とを結びつけて地域的特色と地球的課題を考察・理解させ、基礎的・基本的知識を習得させる。	
韓国			韓国について「近隣諸国との関連」に着目させ、それと歴史的背景や文化の特色、経済の著しい発展、人口と食料・資源確保の課題とを結びつけて地域的特色と地球的課題を考察させ、基本的知識を習得させる。		

			中間考査		
	11	現代世界の諸地域	東南アジア・南アジア	歴史的背景や民族、自然、農業、工業、都市問題という項目ごとに整理させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、ノート（ワークシート）の提出</li> <li>・授業内課題の取り組み状況</li> <li>・グループワークやペアワークなどの活動状況</li> <li>・授業態度等</li> </ul>
	12		西・中央アジア アフリカ	位置と歴史的背景、自然環境、農牧業、鉱工業とサービス業、イスラム教と人々の生活といった項目ごとに整理して地域的特色と地球的課題を考察させる。	
			期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1		アメリカ	国家規模の大国としてのアメリカを、歴史的背景、自然、農業、鉱工業、住民、都市化、世界との結びつき、居住・都市問題という項目ごとに整理して地域的特色と地球的課題を考察・理解させ、基礎的・基本的知識を習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、ノート（ワークシート）の提出</li> <li>・授業内課題の取り組み状況</li> <li>・グループワークやペアワークなどの活動状況</li> <li>・授業態度等</li> </ul>
	2		オーストラリア・カナダ	南半球に位置するオーストラリアと北半球に位置するカナダを、対照性をもつ二つの国家として捉え、それを歴史的背景、土地開発、土地資源の分布と利用、環境問題を比較しながら地域的特色と地球的課題を考察・理解させ、基礎的・基本的知識を習得させる。	
	3		世界の中の日本	今までの学習を基にして、日本の自然、産業構造、人口構成と居住問題、伝統文化保全とグローバル化に関して、日本がかかえる地理的な課題を生徒自らに見つけ、その課題を多面的・多角的に考察、探究させる。	
			学年末考査		

### 3 評価の観点

知識・技能	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。
思考・判断・表現	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、結果を適切に表現しその過程や結果を適切に表現している。
関心・意欲・態度	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。

### 4 評価の方法

定期考査の得点（考査点）ノートや作業プリントの提出・完成度と授業への参加姿勢（平常点）として総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

身近な生活空間から世界の国々まで地球的規模で、自然や産業・人々の暮らしや課題を学習するのが地理です。地球市民として「歩く・観る・考える」地理学習を通して、現代世界への視野拡大と理解を深めよう。地理を学ぶことは、人生が2倍楽しくなることです。
--